



Nursery Privatization

町立3保育所 民営化への歩み



平成31年4月 民営化

中央保育所

社会福祉法人「頓野児童福祉会」への移管が決定。4月に「福智中央保育園」として民営化が実現。今年度は公立時代の保育を基本的に引き継ぐ方針で保育を実施中。



令和2年度 民営化予定

神崎保育所

平成25年に全面改築。昨年度に社会福祉法人「青空福祉会」が運営法人に決定。現在は3者協議や保育の引継ぎを行うなど、来年4月の民営化に向け準備移行期間中。



令和3年度以降 民営化予定

第一保育所

平成27年に全面改築を行った町内で最も施設の新しい公立保育所。再来年度以降の民営化に向けて、業者選定などに向けた保護者説明会などを行い、慎重に移管準備中。

利用者・法人・行政 3者で歩み築く信頼

「当初感じていた不安は、実際に開所すると自然と和らいでいきました」と笑顔を見せた保護者の内野望さん(伊方)。中央保育所民営化選考委員を務めた内野さんは、移管条件や運営について積極的に意見を発信してきました。「思ったこと」は全て伝えました。その中で子どもたちを第一に考えてくれていることを感じ、信頼が生まれていきました」と当時を振り返ります。福智中央保育園では現在も移行期間として



元中央保育所保護者会 役員
中央保育所民営化選考委員

内野 望さん

最優先は子どものこと。
元気な姿に安心しています

三者協議会や園と利用者への意見交換会でも積極的に意見を発信。現在も長男・麟太郎さんと次男・太志郎くんが通園中。

も意欲を見せました。厳しい町の財政状況の中、民間力を活用して最善の方向へ。より良い保育の未来に向けて、ともに歩みを進めていきます。

行事や保育内容の引き継ぎを行い、公立時代の保育士の継続任用など、園児や保護者が戸惑いを感じないよう配慮しています。移管を受けた「頓野児童福祉会」の金田るみ子園長も「不安や疑問はすぐに伝えてほしい。関わり合い、意見を交わすことで安心感が生まれます」とスムーズな運営とより良い保育のため、

積極的な対話を重視しています。運営や協議の中で、地域との関係性を強く感じたという金田園長。「地元の畑でイモを掘る体験など、地域全体で成長を見守っていることを感じます。この温かいつながりを大切にしたい。保育規模に対して大きすぎる現行施設を改修し、空いたスペースでの交流などができたら」と民間経験から見た課題も指摘し、新たな活動にも意欲を見せました。

利用者・法人・行政—— 民営化は全員で積み上げ、 作り上げていくものです

社会福祉法人 頓野児童福祉会 理事長
福智中央保育園 園長

金田 るみ子 園長

平成14年に直方市の下境保育園の民営化を園長として担当。豊富な経験が評価され移管先法人に選定され、園長を務めるとともに理事長として3保育所を統括。



今年4月、約3年の準備期間を経て方城地区の「中央保育所」は民営化され、「福智中央保育園」としてスタートを切りました。約10年前、国の財政支援終了を機に始まった民営化計画。町内3つの公立保育所は、建設年度順に民営化に向けた取り組みが進んでいます。現在、民間の保育所に通う町内の園児は約8割。町立・私立ともに入園申込や保育料の決定は同じ基準で全て町が行っています。また福智町の独自事業として私立保育所の施設整備費用の一部助成するなど、行政と保育の深いかわりは変わらず続いています。

公立保育所民営化3か年計画

- 1年目** 民営化検討の保護者協議期間
▶保護者会役員会、全体会
- 2年目** 運営事業者公募・選定期間
▶事業者公募の保護者説明会
▶事業者選定、決定
▶町と事業者の協議
- 3年目** 準備移行期間
▶三者協議会
▶合同保育の実施
- 民営化実施**



町と園の二人三脚で 中央保育所が民営化実施

公立保育所、 民営化へ。

子どもの未来をつなぐ保育サービスを目指して